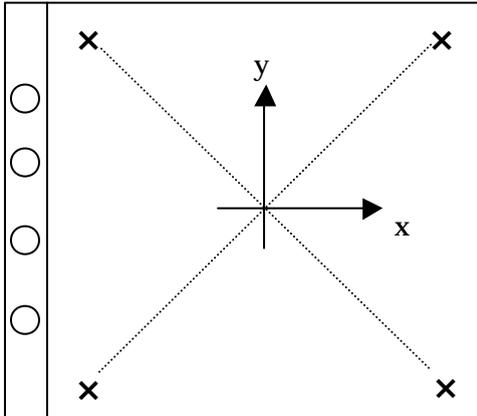


必要なカメラ情報

航空カメラの場合、



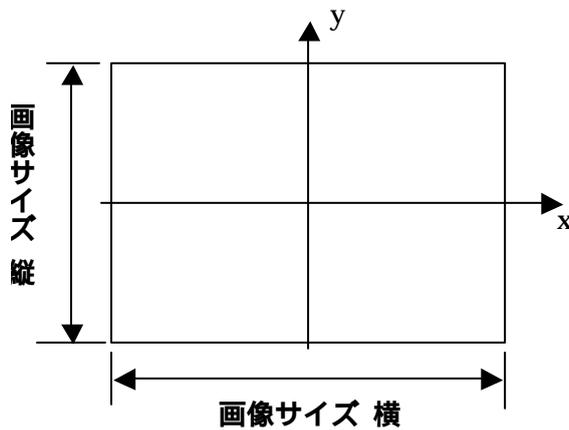
焦点距離(mm)

航空カメラのような計測用カメラの場合は、メーカーより提示の検定焦点距離

指標座標値(mm)

指標は、フィルム（写真）の4隅または4辺の中央に明示される固定点のことで、相対する指標を結んだ2本の直線の交点（写真中心）を原点とした座標系で表した座標値で、正確な座標値はカメラメーカーより入手する。

デジタルカメラの場合、



焦点距離(mm)

デジタルカメラの場合は、レンズの公称焦点距離

CCD 素子間隔(mm)

デジタルカメラの撮像素子である CCD 素子の間隔数値で、カメラメーカーより入手する。

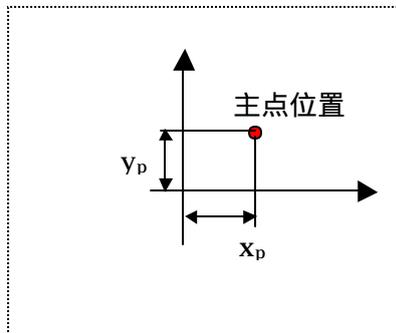
補正焦点距離(mm)

$f = 35\text{mm}$ というような公称焦点距離の補正を行うための量で、カメラキャリブレーションにより求められる。

画像サイズ（横・縦、ピクセル）

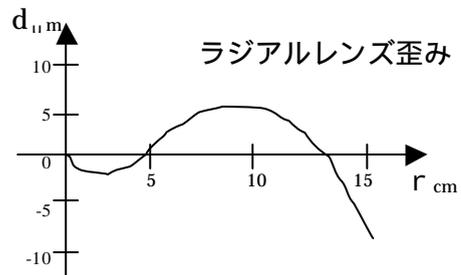
画像の横（幅）方向と縦（高さ）方向のサイズ

航空カメラ、デジタルカメラ共通



主点位置ズレ (x_p, y_p)

$f = 35\text{mm}$ というような公称焦点距離の補正を行うための量で、カメラキャリブレーションにより求められる。



ラジアルレンズ歪み量 (d)

航空カメラの場合は、最大 $10\ \mu\text{m}$ 程度であるが、非計測用カメラの場合では、 $50\ \mu\text{m}$ 以上にもなるものもあるため、この歪み量は無視できない。歪み量、或いは補正係数はカメラキャリブレーションにより求められる。